

国立大学図書館のRDM支援力強化に向けて

(国立大学図書館協会資料委員会オープンサイエンス小委員会 令和4年度活動計画)

背景：2025年までに、機関リポジトリを有するすべての大学は研究データマネジメントに関するガバナンスのあり方について定めたデータポリシーを備える必要（令3 統合イノベーション戦略推進会議）

国立大学図書館が各大学の研究データ管理・公開に実質的に貢献

大学のポリシー策定を支援

例) ポリシー原案起草のための懇談会

例) 未着手大学のための先行事例勉強会

例) 分野別情報交換会（教育系など）

例) ポリシー実効性確保の手法検討会

策定段階等に応じた課題解決を促進

各国立大学のRDMポリシー策定状況、図書館の関与状況、課題等を調査・分析
→国大図協ウェブサイトで公開（9/14）

RDM支援業務の設計と図書館職員による実践

図書館職員のスキル向上

RDM支援活動の事例分析と共有

海外先進大学のRDM支援事例を例として日本国内の大学／図書館への適用・応用方策を探り、国立大学図書館全体で共有



専門職種「Data Steward」
(フーニンゲン大学)

Research Data Alliance編「データ管理で研究者と協力するために：クックブック」掲載事例等を対象とし、海外のRDM支援実務担当者へのインタビューを実施（予定）

RDMのための標準技術の普及



研究データに適切なメタデータを付して国際流通性を高められるよう、研究者への助言・補助



研究分野ごとの国際標準メタデータ規格の解説文書を日本語化・共有

国立大学図書館協会 資料委員会 オープンサイエンス小委員会

(小委員会)

委員長：永盛克也（京都大学）

京都大学
大阪大学
神戸大学

富山大学
奈良女子大学
大阪教育大学

若手職員によるタスクフォース

東京大学
名古屋大学
京都大学
神戸大学

広島大学
国立民族学博物館

現役の理系出身図書館職員による専門サポートグループ

北海道大学
東北大学
東京大学
東京工業大学

富山大学
名古屋大学
奈良先端科学技術大学院大学
神戸大学

広島大学
愛媛大学
国立情報学研究所